

特別展関連講座

平成30年度 飛騨高山まちの博物館 秋季特別展 平成30年10月5日(金)～12月9日(日)
幕府が治めた飛騨 —177年の政治と文化を見る—

講演会場 岐阜県高山市上一之町75 飛騨高山まちの博物館 TEL 0577-32-1205

平成30年10月14日 午前10時～午後3時

「幕末の動乱を生きた山岡鉄舟講演会」

午前10時～

歌物語「山岡鉄舟貧乏噺し」

シンガーソングライター 潮見佳世乃氏

潮見氏は歌と語りです遠野物語や伊能忠敬物語など、全国で講演活動をされている。今回、御厚意により鉄舟の青春時代を歌物語で語っていただき、鉄舟を偲んでいただく。

午前11時20分～

明治天皇と山岡鉄舟

東京・山岡鉄舟研究会 山本紀久雄氏

山本氏は東京を中心に山岡鉄舟研究会を主体し、長年にわたって鉄舟の遺跡、偉業を会員と共に研究されている。今回、幕臣であった鉄舟がなぜ明治天皇の侍従として長く迎えられていたのか、その理由を講演してもらう。

午後1時30分～

『江戸無血開城』と鉄舟 鉄舟義兄「泥舟」と高山の関わり

岩下哲典先生 東洋大学教授

岩下哲典先生・主要著書

『予告されていたペリー来航と幕末情勢戦争』洋泉社、2006年

『病とむきあう江戸時代』北樹出版、2017年

『徳川慶喜 その人と時代』岩田書院、1999年

『江戸無血開城 本当の功労者は誰か?』吉川弘文館、2018年

慶応4年(1868)3月9日、山岡鉄舟は静岡で西郷隆盛に会い、徳川慶喜の助命、旧幕府の武装解除、江戸城の引き渡しを約束した。3月13、14日に徳川家の代表である海舟、鉄舟と西郷の最終確認が行なわれ「江戸無血開城」が決まったのである。山岡、西郷の静岡会談で幕末維新の歴史が動いた。

また徳川慶喜、高橋泥舟、山岡鉄舟の関わり、高山と泥舟との関係についても講演をしていただく。



平成30年11月11日(日) 午後1時30分～3時

幕領時代の始まりと最終章

伊奈代官、山岡鉄舟

田中 彰(高山市史編纂専門員)

金森氏の転封に伴い、飛騨代官として派遣された伊奈家の拠点・赤山陣屋、菩提寺などを紹介する。また、山岡鉄舟は幕末維新史の中でどんな役割を果たしたか、上野の森、静岡の西郷との会見地、など各地の遺構を紹介する。

※車は市営空町駐車場(満車の場合はえび坂駐車場) または周辺有料駐車場にとめて下さい。
市営駐車場の場合は駐車券をお持ち下さい。